

認知症になっても 安心して暮らせるまち豊山



認知症は脳の病気

「認知症」とは、さまざまな脳の病気により、脳の神経細胞の働きが徐々に低下し、認知機能（記憶、判断力など）が低下して、社会生活に支障をきたした状態を言います。

早期発見が大切

認知症は、早期発見、早期対応が大切です。自分や身近な人が「おや？いつもと様子が違う・・・」と感じることがあれば、左表のチェックを試みましょう。

認知症による物忘れ

- 体験したことの全部を忘れる
- 新しい出来事を記憶できない
- ヒントをもらっても思い出せない
- 物忘れに自覚がない
- 日常生活に支障がある

加齢による物忘れ

- 体験した一部を忘れる
- ヒントをもらって思い出せる
- 物忘れに自覚がある
- 日常生活に支障がない

認知症かも・・・ と思ったら

自分や身近な人の言動から、もしかして認知症かもしれないと感じても、「まだ仕事に行けるし・・・」「年齢のせいかな」「勘違いだ」と悪いな・・・など思う方も多いかもしれません。しかし、大切なのは早めに相談することです。一人で悩まず、かかりつけ医や地域包括支援センターなどに相談しましょう。小さなことでも気軽に相談して、不安の解消や早期発見・早期治療につなげましょう。

check あなたは何個当てはまる？

- ☐ 同じことを言ったり、聞いたりする
- ☐ 物の名前が出てこなくなった
- ☐ 置き忘れやしまい忘れが目立ってきた
- ☐ 以前はあった関心や興味が失われた
- ☐ だらしくなった
- ☐ 日課をしなくなった
- ☐ 時間や場所の感覚が不確かになった
- ☐ 慣れたところで道に迷った
- ☐ 財布などを盗まれたという
- ☐ ささいなことで怒りっぽくなった
- ☐ 蛇口・ガス栓の締め忘れ火の用心ができなくなった
- ☐ 複雑なテレビドラマが理解できない
- ☐ 夜中に急に起きだして騒いだ

3つ以上あてはまった方が、まずは地域包括支援センター(28-0932)へ相談を

(この認知症チェック項目は、あくまで目安です。認知症の診断をするものではありません)

町の担当者のコメント

令和6年1月に認知症基本法が施行され、9月が「認知症月間」、9月21日が「認知症の日」と制定されました。それに伴い、本町でも、一人でも多くの方に認知症の理解を深めるきっかけとなるよう、9月9日から役場ロビーにてパネル展示などを開催します。詳しくは6ページをご覧ください。「認知症になっても安心して暮らせるまち豊山」を目指して、認知症への正しい理解の普及と認知症の人やその家族が、社会、地域とつながり続けることができるよう取り組みを続けていきたいと思っています。

